

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成27年度】

(④社会体育施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		大須賀海洋センター		担当課名	社会教育課			
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市海洋センター条例						
	(2)施設設置目的	スポーツの振興及び青少年の健全育成を図るため						
	(3)施設が有する設備、機能の概要	屋外プール(25m)、幼児プール1						
	(4)施設建設年度	昭和60年度						
	(5)耐震性能の有無	—						
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)							
	(7)指定管理者名	特定非営利活動法人 掛川市体育協会						
	(8)指定期間	平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで						
	(9)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度						
	(10)自主事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
(11)その他事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。							
(12)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし							
(13)利用者満足度調査等実施の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成27年度)							
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	—	1,200	1,000	1,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	1,322	915	823			
	内訳 (施設・設備ごと)	室内プール	1,322	915	823			
	(施設・設備ごと)	(2)稼働率(利用率)					↓ 備考欄に算定式を記入してください ↓	
		室内プール	A平日昼間			43.0%		利用者数/(時間区分2×定員数:30人×営業日数)
			B平日夜間			0.0%		
			C土日祝昼間			38.0%		
			D土日祝夜間			14.0%		
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
D土日祝夜間								
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入		
	(2)利用者一人当たりの運営経費	562	480	667				
	(3)運営日数	37	30	30	30			
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	586,842	292,491	415,845	400,000	
	②印刷費	0	0	0	0	
	③通信費	39,181	44,290	40,745	42,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	0	0	0	10,000	
	⑤借上料	0	0	0	0	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	29,070	34,400	33,897	34,200	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	87,535	67,723	58,540	79,000	
	計	742,628	438,904	549,027	565,200	
	対前年度増減率		△ 40.9	25.1	2.9	
区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	204,404	192,612	193,948	230,000	
	建物管理委託	204,404	192,612	193,948	230,000	
	②修繕費	62,643	119,232	100,116	70,000	
	③光熱水費	488,770	534,214	449,651	443,000	
	④燃料費	0	0	0		
	⑤清掃費	0	0	0		
	⑥保守点検費	0	0	0		
	⑦その他(施設消耗品)	108,455	120,488	100,008	76,800	
	計	864,272	966,546	843,723	819,800	
	対前年度増減率		11.8	△ 12.7	△ 2.8	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		1,606,900	1,405,450	1,392,750	1,385,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		46.2	31.2	39.4	40.8	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に輸入する		155,900	108,450	95,750		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		21.0	24.7	17.4		

Ⅲ 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設利用料金収入	128,800	155,900	95,750	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)	△ 1,186,926	△ 1,451,000	△ 1,297,000	
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)	1,451,000	1,451,000	1,297,000	

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

Ⅳ 担当課による評価

(1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	夏期限定ではあるが、海洋性スポーツ実践の場として利用されており、市民のニーズに応えられる施設管理とサービスの向上に努めること。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度	90%以上	%	0	協定に定められた利用者数の満足度調査を実施すること。
B サービス内容の満足度	90%以上	%	0	協定に定められた利用者数の満足度調査を実施すること。
C 従業員対応の満足度	90%以上	%	0	協定に定められた利用者数の満足度調査を実施すること。
D 施設安全対策の満足度	90%以上	%	0	協定に定められた利用者数の満足度調査を実施すること。
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	%	0	協定に定められた利用者数の満足度調査を実施すること。
F 施設の利用者数	1,200人	823人	0	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3)収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	1	利用者が増えるよう、施設のPR方法等新しい方策を計画すること。 利用者が気持ちよく利用できるよう施設の安全と清潔感ある施設を維持すること。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	指定管理者からプール開館前に「プール安全管理マニュアル」を提出させ、そのマニュアルに基づき配置職員を指導しているため問題無いと考える。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	夏季プール開放期間以外の施設の利用方法等を考案すること。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	他の体育施設と一体的に管理することで効率的な人員配置を行い、経費節減に努める。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	10	／33
----	----	-----

Ⅴ その他自由意見

--